

領域	基礎分野	授業科目	文化人類学	単位 (授業時間/時間数)	1 (14/15)
開講年次	1年次	開講時期	前期	後期	通年
担当講師名	非常勤講師	講師所属			

授業のねらい

本講義では、家族・ジェンダー・儀礼・宗教・医療・死などをテーマに、文化人類学の入門として基礎的な知識を学習する。授業で学んだことを、受講生自身の経験や身のまわりの事がらと関連づけて考えることができるように、身近なトピックなど具体的な例を挙げながら説明する。講義を通して、文化人類学の視点から日常の文化現象を捉えなおすことができるようになること、文化の多様性を理解し、他者を理解しようとする姿勢を持つようになることが、本講義のねらいである。

授業目標

文化人類学の基礎的な知識を学ぶと同時に、その知識を通して日常の文化現象を考察することができるようになる。また、文化の多様性を理解し、他者を理解する姿勢を持つ。

授業概要

1. 「文化」とは何かー文化人類学と文化相对主義
2. 家族の成り立ちと家族を越えたつながりー家族と親族
3. 文化と出産ー身体・医療
4. 大人になること、男/女になることー人生と通過儀礼
5. 「宗教」を考えるー宗教と世界観
6. 人は死をどう考えてきたかー人間と死
7. 文化人類学とフィールドワークー現地から考える/現地で考える

授業の進め方

講義を中心に授業を進める。

教科書

波平 恵美子 (編) 『系統看護学講座 基礎分野 文化人類学』 (医学書院)

適宜プリントを配布する。

参考図書

評価方法

終講時 客観的テスト (80%)、授業への参加態度など (20%)

試験時間は時間数に含む。